

大学

第4次中期計画ビジョン

「つながる力で人を育てる」

戦略分野	行動目標	KGI	アクションプラン
1. 連携活動の強化	1 中高大専連携の強化 (学園内連携の強化)	◎附属高校生における本学への進学割合 25%	◎附属高校における大学教員による授業回数と受講者数 ◎高校OB学生による講座回数と受講者数 ◎校種をまたいだスポーツ等の練習、試合等のイベントの開催回数 ◎大学生による中学生への模擬授業実施 ◎大学、専門学校の進学ルートの確立 ◎教職員間の交流の充実に関するKGI(純粋な交流)
	2 地域との連携強化	◎県内企業・自治体からの技術指導依頼・受託研究件数 年間10件 ◎中学、高校への出前講座 年間18件 ◎FUT公開講座の参加者数 年間500名	◎公開講座参加人数の増加 ◎国・地方自治体等の委員会、審議会への教員参画数の増加 ◎地方自治体への意見聴取の会議件数または実施回数(内部質保証関係) ◎地域との関わりのある学修活動(PBL等)への教員の取組率60%以上 ◎地域の小中高生とのイベント回数 ◎社会貢献活動、オープンキャンパス、科学実験キャラバン等に参加する学生スタッフ数の増加 ◎高校の探究授業への参画回数 ◎高大連携協定校の増加 ◎地域自治体とのグローバル関係プロジェクトの実施回数
	3 海外との連携強化	◎海外への派遣学生・教職員および海外からの来学外国人学生・教職員数 年間120名	◎海外連携協定校との交流機会回数 ◎留学生と交流した日本人割合 ◎英会話カフェの日本人学生の利用者数 ◎SPECイベントへの参加者数 ◎日本人学生の留学者数R5年度比20%増 ◎グローバル化に関する講座への地域住民の来場者数 ◎留学生対応窓口の整備 ◎留学生対応職員(外国人)の配置 ◎国際交流機会の増加
	4 同窓会との連携	◎同窓会総会の参加者数 20%増(R5年度比) ◎同窓会からの寄付額 20%増(R5年度比)	◎同窓生向けイベントの実施 ◎同窓生への情報の発信強化

大学

第4次中期計画ビジョン
「つながる力で人を育てる」

戦略分野	行動目標	KGI	アクションプラン
2.教育力・研究力の向上	1 教育の質の向上	◎卒業生アンケート「学び」(教養・専門科目)において「満足」と回答する学生の割合 50%以上 ◎卒業生アンケート「学び」(教養・専門科目)の「満足」「ほぼ満足」と回答する学生の割合 95%以上	◎ディプロマ・ポリシーの達成度および通算GPA(前学年と比較)が改善された学生数の増加 ◎「授業改善のためのアンケート」における回答数/受講者数70%以上を定着 ◎学修時間の把握、学修成果、各能力の検証の実施 ◎教員の授業内容の検証 ◎入学初年度次教育のデータ分析 ◎教員間の授業見学の実施 ◎大学内のデータの集約、分析結果からの改善提案 ◎アクティブラーニング割合増加R5年度比20%増加 ◎「授業改善のためのアンケート」における各設問の全学平均3.70/4.00以上
	2 学部生、院生の研究力向上	◎大学院博士前期課程の定員充足率 100% ◎大学院博士後期課程における内部進学率 10%増	◎院生研究成果ポスターセッションへの学部生参加率の増加 ◎海外連携協定校との共同研究の実施 ◎教員の研究時間確保 ◎学生が筆頭著者の査読付き学術論文を3報(理系)もしくは1報(文系)以上発表 ◎工大サミットなど他大学との交流イベントへの参加
	3 宇宙研究の推進	◎宇宙関連の研究に携わる4年生・大学院生の割合 10%	◎宇宙関連の補助金獲得 ◎宇宙研究の論文投稿(学生と共著)
	4 センター研究の推進	◎センターとしての活動・研究 年間20件	◎各研究センターの研究会・講演会等の実施回数 ◎北陸地方の地域課題に基づく研究テーマ数を全体の50%に増加
	5 教員の研究力の向上	◎継続を含め科研費 25件(代表者)以上維持	◎外部研究資金(共同、受託、試験、技術開示・指導)採択件数40件以上を維持 ◎外部資金獲得金額の増加 ◎国際学会(国際会議)における参加件数増加 ◎掲載論文数の増加

大学

第4次中期計画ビジョン

「つながる力で人を育てる」

戦略分野	行動目標	KGI	アクションプラン
3.環境・体制の創出	1 教育環境の整備	◎教員アンケート「教育環境に関する満足度」 20%向上(初年度比) ※新規作成	◎アクティブラーニング講義実施のための機器の導入 ◎ICT学修環境の高度化 ◎6号館の用途変更 ◎あわらキャンパスの活性化(Phoenix, Wellness & Sports) ◎7号館の施設改修(Robotics)
	2 研究環境の整備	◎教員・大学院生アンケート「研究環境に関する満足度」 20%向上(初年度比) ※新規作成	◎6号館の用途の見直し ◎あわらキャンパスの活性化(Phoenix, Wellness & Sports) ◎7号館の施設改修(Robotics) ◎実験施設・実験機器の共同利用促進 ◎実験室/機器の稼働率向上
	3 キャリア支援の充実	◎就職率 100% ◎進路満足度 95%以上維持	◎大学院向けキャリア支援の充実 ◎学部向けキャリア支援の継続、長期インターンシップ増加 ◎資格取得支援
	4 多様な学生の活動支援・活動環境の整備 (ダイバーシティの推進)	◎卒業生アンケート「生活環境満足度」 20%向上(初年度比) ※項目を新規追加 ◎退学率 1.5% ◎卒業生アンケート「課外活動への取り組み」 10%向上(R5年度比)	◎学食・キャンパスコンビニの拡張や質改善の検討 ◎学生用スペースの拡充(6号館、ゼミ室等)、学生利用促進のための周知 ◎駐車場確保支援 ◎学生寮の整備 ◎在女子学生の満足度調査・向上策の検討 ◎多様な学生へのきめ細かい支援(学生生活支援、留学生支援、障害学生支援、低GPA学生支援、高GPA学生支援) ◎保護者専用FUTアプリの運用 ◎異文化、多様性理解に関連する科目の設置 ◎学生プロジェクトの実施数(内容、書き方)
	5 大学組織のダイバーシティの推進	◎若手・女性・外国人教員比率 40%	◎若手・女性教員の採用 ◎外国人教員比率の維持 ◎英語講座数の割合R5年度比20%増

大学

第4次中期計画ビジョン

「つながる力で人を育てる」

戦略分野	行動目標	KGI	アクションプラン
4.ブランドの確立	1 国内外への広報	<p>◎日経BPコンサルティング大学ブランド・イメージ調査（東海・北陸地区の国公立大65校中）の教育関連従事者からみた総合ブランド力 30位以内</p> <p>◎日経BPコンサルティング大学ブランド・イメージ調査（東海・北陸地区の国公立大65校中）の大学認知率 石川県で90%・富山県で80%・岐阜県で60%</p> <p>◎「私立大学等改革総合支援事業」3タイプ 採択維持</p>	<p>◎宇宙関連（研究・教育・地域貢献）でのメディア発信数を増やし、「福井工大＝宇宙×AI」のイメージを浸透させる</p> <p>◎福井工大の研究・スポーツの歴史と実績を発信するスペースをつくり、学業とスポーツの両方に取り組みめる工業大学であるというイメージを浸透させる</p> <p>◎メディア（新聞・テレビ・ネットニュース）での取り上げ数を年間300件以上に増やす</p> <p>◎学内広報の窓口や業務を整理し、大学からメディアへの情報発信件数を増やす</p> <p>◎自己点検評価結果や教学データの情報公開を充実させる</p> <p>◎IRによる情報収集・分析結果を外部に公表する</p> <p>◎定員5%の留学生数を継続して確保する</p>
	2 高校への広報 (志願者の増加)	<p>◎定員充足率 110%達成、維持</p> <p>◎女子学生比率 30%</p>	<p>◎オープンキャンパスの魅力が伝わる広報を展開し、オープンキャンパス参加者数を2500人に増やす（R4年度比40%増）</p> <p>◎オープンキャンパスの内容を充実させ、オープンキャンパス参加者の出願率を50%に増やす</p> <p>◎高校ガイダンス（学科+職員対応）の出席率を80%以上にする</p> <p>◎高校ガイダンス（学科対応）の出席率を98%以上にする</p> <p>◎高校ガイダンスの内容を教職員協同で充実化し、実施校からの出願率を100%にする</p> <p>◎女子学生の活躍や卒業後のキャリアに関する広報を増やす</p>